

(様式3)

自己評価結果票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>	<p>「家にいるように自分らしくのびのびと暮らしましょう」の理念に添って支援している。ホーム内に掲示し、利用者、職員が共に楽しく暮らせるような支援を心がけている。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>	<p>理念やケア方針などを中心に、職員の意識確認をし、全職員で共有し努めている。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p>	<p>地域・家族からの理解が増えてきているが、全員に理念の浸透が出来るように努めている。</p>	<p>行事参加の働きかけや、ホーム内の写真新聞の交付などから、理解を得れるよう努めたい。</p>
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p>	<p>散歩中や地域行事に参加することにより、コミュニケーションがとれるようになってきている。</p>	<p>地域の高齢者の方などを中心に触れ合う機会作りを検討したい。</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>	<p>自治会行事(納涼祭、秋祭り、とんど祭り、花見など)に参加している。</p>	<p>行事以外でも、普段から気楽に立ち寄って頂けるような、なじみの関係を気づいていけるよう地域の方と取り組んでいきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議で高齢者（特に一人暮らし）の方の話を聞き、対策を検討中である。</p>	<p>ホームでの触れ合いや、公民館などでの憩いの場所で、触れ合う機会を設けたい。</p>
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価結果をもとに、全職員で改善、ケアの見直しに取り組んでいる。</p>	
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>行政や地域、家族などから助言を取り入れ、生かしている。評価の報告、改善、方針などの相談も行なっている。</p>	
9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>機会は少ないが、連携を取り、努めたい。</p>	<p>相談・助言などをホームから働きかけ、サービスの向上に努めたい。</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>機会は少ないが、連携を取り、努めたい。</p>	<p>職場内研修会の中でも取り上げ全職員学ぶ機会を作りたい。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止に努めている。自分の親のように接し、温かみあるケアを心がけている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約書、重要事項説明書などを説明し理解を得ている。質疑応答を行なっている。</p>	<p>入所した後からでも、不安点、疑問点など相談を随時対応している。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日頃の状態から把握したり、意見を聞いたりする機会を設けている。</p>	<p>家族交流会開催時に、話し合いを行なっている。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月、状態説明、金銭出納帳の交付、写真新聞の作成などを家族に送付又は必要時、電話にて報告している。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時などに、話しやすい雰囲気作りを心がけ、希望、要望を受け入れるようにしている。</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>日課や行事など、全職員で考案し、一人ひとりの意見を大切にし共有する場を大切にしている。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>状況に応じて、勤務状況を調整して、柔軟に入所者に対応できるよう組んでいる。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>18 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>開設当初より、大きな移動、離職はない。なお、移動された職員も、ボランティアとして行事等に参加して頂くこともあり、喜ばれている。</p>		
<p>5. 人材の育成と支援</p>			
<p>19 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職場内・外研修の機会を年間予定を決め、情報の共有、交換を行なっている。</p>		<p>勉強を通して資格の取得などにつなげればと思う。</p>
<p>20 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>各研修会に随時参加の声かけを行うと共に、自発的に参加の希望があった研修会に対しても参加出来るよう配慮している。</p>		
<p>21 職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>有給休暇の取得や懇親会などを取り入れている。</p>		
<p>22 向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>職員一人ひとりの良いところを見つけ、必要な助言指導にあたっている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入所間もない利用者には、良く観察し言葉かけに配慮し、不安感を抱かないよう対応している。</p>	<p>本人、家族の思いを共感し、支援を行なうよう努める。</p>
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>初回訪問時から、相談にのるよう接し、家族の気持ちを受け入れるよう努めている。</p>	<p>本人、家族の思いを共感し、支援を行なうよう努める。</p>
25	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>現状を受け入れ、それぞれの対応を家族に説明し、相談や助言をするようにしている。</p>	<p>様々なサービス利用の知識も習得し、関係機関との連携を持って紹介などにも努める。</p>
26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>初期ケア計画にGHに馴染んでもらうことを主に、本人や家族と相談しながら、進めていくようにしている。</p>	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>生活リズムやペースに合わせたり、昔の知恵、習わし、懐かしい手料理などを教えてもらったりしている。</p>	<p>感情を共に共感し寄り添う支援を続けてきたい。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	<p>利用者を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている</p>	<p>行事参加を働きかけたり、面会の機会を設けてもらうようにしている。</p>	<p>無理強いはできないが、状況報告は継続するようにしている。</p>
29	<p>利用者と家族のよりよい関係に向けた支援</p> <p>これまでの利用者と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している</p>	<p>家族から情報を収集したりし、関係を理解するように努めている。</p>	<p>家族への働きかけを行い、いつまでもよりよい関係が築いていけるように支援する。</p>
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>地域行事で懐かしい人と再会したり、尋ねて来られる際には、ゆっくりと過ごしてもらえるように支援している。</p>	<p>本人や家族、地域の人などから馴染みの人、場所などの把握に努めている。</p>
31	<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている</p>	<p>利用者同士の仲を把握し、トラブルの無いように支援している。</p>	<p>職員も中に入り、色んな利用者同士で触れ合う機会が持てるように支援している。</p>
32	<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている</p>	<p>終了以後も、相談や訪問にて触れ合う機会を持つように努めている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1.一人ひとりの把握			
33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>出来る限りの希望や意向を把握しているが、困難な場合の本人本位な把握が難しい。</p>	<p>家族に働きかける等し、感情を大切にしたい支援を心がけたい。</p>
34	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>紹介状、情報提供書、家族などからの情報収集で把握に努めている。</p>	<p>行きたい所があれば少しでも多くいけるように調整し楽しみの増える支援をする。</p>
35	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>日々の記録、引継ぎによって情報の共有、対応に努めている。</p>	
2.より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>問題点・アセスメント表などを用いて課題分析を行い、本人・家族からの要望も取り入れている。</p>	
37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期又は必要に応じて、見直しを行い変更時には、本人・家族に同意を得ている。</p>	<p>急変時は、家族や主治医との連携も密に行なっている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>		<p>全職員での情報共有、報連相を密に取り組んでいきたい。</p>
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>授産施設との併設の為、家族や地域の方々との交流に喫茶店などを利用している。</p>	<p>施設に受け入れやすい環境づくりを考えたい。</p>
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
40	<p>地域資源との協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p>	<p>写真新聞の交付を中心にホーム内の生活を知ってもらい、触れ合う機会作りを考えている。</p>	<p>ボランティアや他関係機関への働きかけに努めたい。</p>
41	<p>他のサービスの活用支援</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p>	<p>サービス事業者と話し合い検討などは行っているがコスト面での問題もあり支援が出来ていない。</p>	<p>必要に応じて支援を活用するよう努めたい。</p>
42	<p>地域包括支援センターとの協働</p> <p>利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p>	<p>情報の理解に努め、地域包括との連携に努めたい。</p>	<p>ホームから働きかけ、連携をとり努めたい。</p>



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	二週間に1回定期受診を行っている。状態に応じて受診できる体制ができている。	
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	母体のドクターに認知症指導医を持っている医師があり、随時、相談・受診ができる体制にある。	
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	医療連携体制の下、緊急時対応、日ごろの医療面での相談が出きる体制にある。	
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	主治医や看護師との情報交換、相談を中心に連携を取れる体制ができている。	
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	急性期・重度化・終末期ケア対応指針を作成し本人・家族に説明し、個人それぞれの対応方針を職員全員で共有している。	
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	家族からの要望や、主治医との連携などから今後の対応策を随時、検討している。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 住み替え時の協働によるダメージの防止  利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	他関係機関のケアマネや本人・家族等との話し合い、情報交換に努めている。		
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50 プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉遣い、接遇などに気を配り対応するよう努めている。個人情報保護にも努め、保管・掲示物等にも気を配るよう努めている。		
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援  利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の思いを出来る限り取り入れるよう、言い出しやすい雰囲気作り、言葉賭けに取り組んでいる。		表面に出しにくい方への働きかけや環境づくりにも取り組むよう努めている。
52 日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	担当職員を中心に、個別的に要望に応じたり、決まりごとを優先せず、なるべく、のんびりと生活できるように働きかけている。		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53 身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	希望に応じて、対応できている。コスト面で困難な方には、ホーム内で希望に合わせたおしゃれを工夫している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>各利用者が出来る事を把握し、無理なくして頂けるように職員と共にしている。</p>	<p>調理する入所者の組み合わせにも留意し、楽しみを持ってして頂いている。</p>
55	<p>利用者の嗜好の支援</p> <p>利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>個別で買い物に行ったりし、好きな物を購入したりしている。体調にあわせ、支援している。</p>	
56	<p>気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>自尊心を傷つけないよう声かけ、誘導、介助に入っている。他者からの不快な視線や言動にも注意し、本人が嫌な思いしないよう対応している。</p>	
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>曜日を決めて行なっているが、希望により入浴の対応をとっている。希望により順番や時間帯を聞いている。</p>	
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>落ち着くよう優しい声掛けを行ったり、水分補給を行い入眠に対応している。</p>	
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>個人それぞれに好みや得意な事柄を把握し、強制することなく楽しみの一つとして取り組んでもらっている。</p>	


項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>個人通帳作成により銀行にて保管。詳細を月一度ご家族様に報告している。希望時には、本人と共に出金し買い物へ出かけている。</p>	<p>家族との連絡も密に、金銭面においても協力・理解を得るよう努めている。</p>
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>希望を把握し、声掛けを行ったりし、散歩など外気浴などを行なっている。</p>	
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>個別支援として外出支援を、個人単位で取り組んでいる。大変喜ばれている。</p>	
63	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>手づくり年賀状の作成や、希望時には電話・手紙の作成に支援している。</p>	
64	<p>家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>	<p>家族によって差はあるが、訪問の機会も増えている。</p>	<p>家族を通しての働きかけに努めたい。</p>
(4) 安心と安全を支える支援			
65	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束は取り入れていない。職員の見守り観察意識を高め、安全に努めている。</p>	<p>やむを得ない場合は、本人、家族、主治医との話し合いのもとで検討する。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいる項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	安全面から必要時は施錠するが、施錠しないよう取り組んでいる。	入り口ドアに呼び鈴をつけたりして、危機管理に努めている。
67	<p>利用者の安全確認</p> <p>利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	行動に注意し、プライバシーに配慮しながら、安全確認に努めている。	巡回、随時、危機管理を持って対応に努めている。
68	<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	入所時に荷物の確認、針や包丁など職員の目の行き届く場所での使用を心がけている。	見守り、声かけを行い、安全に使用してもらっている。
69	<p>事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	各マニュアルを作成し、職場内研修等で理解、実践している。	常に、問題意識を持って行動するよう努めている。
70	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	AEDの設置をしている。勉強会などで対応を確認している。	常に、問題意識を持って行動するよう努めている。
71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	消防訓練を年二回行い、地域にも報告している。	連絡網なども、確認し対応できるように努める。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて 家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大 切にした対応策を話し合っている	面会時や必要に応じて、身体・生活状況を説明 し、必要に応じて話し合いを行っている。	入所者の高齢化に伴いリスクも増えてきているた め、家族との連絡も密に取れるよう努める。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に 努め、気づいた際には速やかに情報を共有 し、対応に結び付けている	バイタル確認、顔色、動作等に一人ひとり気をつ けて観察し、異常時には、看護師・医師に報告・ 相談するようにしている。	
74	服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副 作用、用法や用量について理解しており、 服薬の支援と症状の変化の確認に努めてい る	職員が管理し、誤薬の防止に努め、手渡しにて服 薬介助にて確実に服薬を行っている。処方箋には 目を通し、理解を深めている。	
75	便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防 と対応のための飲食物の工夫や身体を動か す働きかけ等に取り組んでいる	排便確認を行ったり、日課に、体操・散歩を取り 入れ、水分補給もこまめに取れるよう働きかけ ている。	排便確認の取れない人には、看護師より腹鳴、腹 満などを確認している。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じ た支援をしている	個人に合わせた口腔ケアを声かけ・介助にて行 なっている。	拒否される方への対応を検討している。
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日 を通じて確保できるよう、一人ひとりの状 態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量の確認、バランスのとれるよう な献立作りの立案を共に考えている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作成しており、流行時には再度確認し適切な対応に努めている。		インフルエンザの予防接種の実施。手洗い・うがいの支援を行なっている。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材の管理、器具等の掃除・消毒を定期的に行なっている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	スロープの設置がある。長いすもあり休憩場にもなっている。ガーデニングも行い、明るい雰囲気が増えるよう工夫している。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	たたみコーナーを設置し、ソファでも好きなところでくつろげるよう工夫している。季節に合った作品作りをして、飾っている。		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一箇所ではなく、他にもソファや椅子でくつろげる空間作りを行なっている。		状態に応じて、模様替えや空間作りの工夫を取り入れたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>83</p> <p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族などから協力が有り無しによって差があることは避けられていない、家族の協力の得られていない居室には、手づくりでも工夫し温かみのある過ごし易い空間作りに取り組んでいる。</p>		<p>より良い居室作りに努めてきたい。</p>
<p>84</p> <p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>利用者の状況に応じて換気、消臭対策を行なっている。体調、天候に合わせ室内の温度調節を行なっている。</p>		<p>失禁などの消臭対策には、自尊心を損なわないようさりげに対応するよう努めている。</p>
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
<p>85</p> <p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ホーム内に手すりを増やした。スロープがホーム内にある。</p>		<p>スロープや手すりがあっても、見守り重視し、安全に努めている。</p>
<p>86</p> <p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>職員からのさりげない声かけで、失敗を防ぎ、安心して生活して頂けるよう支援している。</p>		
<p>87</p> <p>建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>駐車場の安全な場所でのレク活動や希望者によるベランダでの花の栽培をしている。</p>		<p>関心のない方にも他者の様子を見て、自分もと意欲が見られた方もいた。</p>

(  部分は第三者評価との共通評価項目です )



. サービスの成果に関する項目	
項 目	取 り 組 み の 成 果 ( 該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と )
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 ( 該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と )
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

個別支援を取り入れ職員と一対一で、主に外出支援をし、希望に添った買物・温泉・外食・散髪等、一日を有意義に過ごして頂けるような支援を取り入れている。